

7 吹 下 経 第 5 1 7 2 号

令 和 0 8 年 0 1 月 1 6 日

国土交通大臣 殿

吹田市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和07年10月07日 付け 7吹下経第5135 号 で提出した、社会資本総合  
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年01月14日

計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その2）（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当	○
交付対象	吹田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												

全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	8,308	A	8,308	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%
------------	-------------------	-------	---	-------	---	---	---	---	---	---	--------------------------------	---	---

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	下水道による都市浸水対策達成率（10年確率降雨）を54.10％（R6）から54.65％（R10）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率（％）（10年確率降雨）	54％	55％	55％
	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha） 浸水対策を実施すべき面積：A=3582ha			
2	処理場ポンプ場設備機器の健全度2以下の割合を32.4％（R6）から22.5％（R10）に減少させる。			
	処理場ポンプ場設備機器の健全度2以下の割合（％）	32％	29％	23％
	健全度2以下の設備数 / 全設備数（代表設備） 全設備数（代表設備）：N=111			
3	管路施設地震対策事業による管渠耐震化率を25.8％（R6）から30.9％（R10）に増加させる。			
	管路施設地震対策事業による管渠耐震化率（％）	26％	30％	31％
	地震対策事業による耐震化済管渠延長（km） / 耐震化が必要な管渠延長（km） 耐震化が必要な管渠延長：225.49km			
4	処理場ポンプ場の耐震化率を15.4％（R6）から17.3％（R10）に増加させる。			
	処理場ポンプ場の耐震化率（％）	15％	15％	17％
	耐震化済施設数 / 耐震化が必要な処理場・ポンプ場施設数 全施設数：N=52			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
吹田市強靱化地域計画 A07-001～005												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 雨水）	新設	管路施設浸水対策事業	管布設 L=7.9km、詳細設計	吹田市						3,158		-
		種別1は外に管渠（合流）を含む																	
	A07-002	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 雨水）	-	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水浸水想定区域図等	吹田市						97		-
		種別1は外に管渠（合流）を含む																	
	A07-003	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	終末処 理場	改築	処理場等雨水対策事業	雨水ポンプ設備、流入・流出 ゲート	吹田市						2,142		策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は外にポンプ場を含む																	
	A07-004	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 汚水）	改築	管路施設地震対策事業	管更生・布設替え L=1.6km、 管布設 L=2.0km、人孔更生、 調査、詳細設計	吹田市						2,047		策定済
		下水道総合地震対策計画、上下水道耐震化計画、種別1は外に管渠（雨水）・管渠（合流）を含む																	
A07-005	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	終末処 理場	改築	処理場等地震対策事業	管理棟、ポンプ棟、最初沈殿 池、反応槽、他一式	吹田市						864		策定済	
	下水道総合地震対策計画、上下水道耐震化計画、種別1は外にポンプ場を含む																		
										小計						8,308			
										合計						8,308			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	158				
計画別流用増 減額 (b)	73				
交付額 (c=a+b)	231				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	117				
翌年度繰越額 (f)	114				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

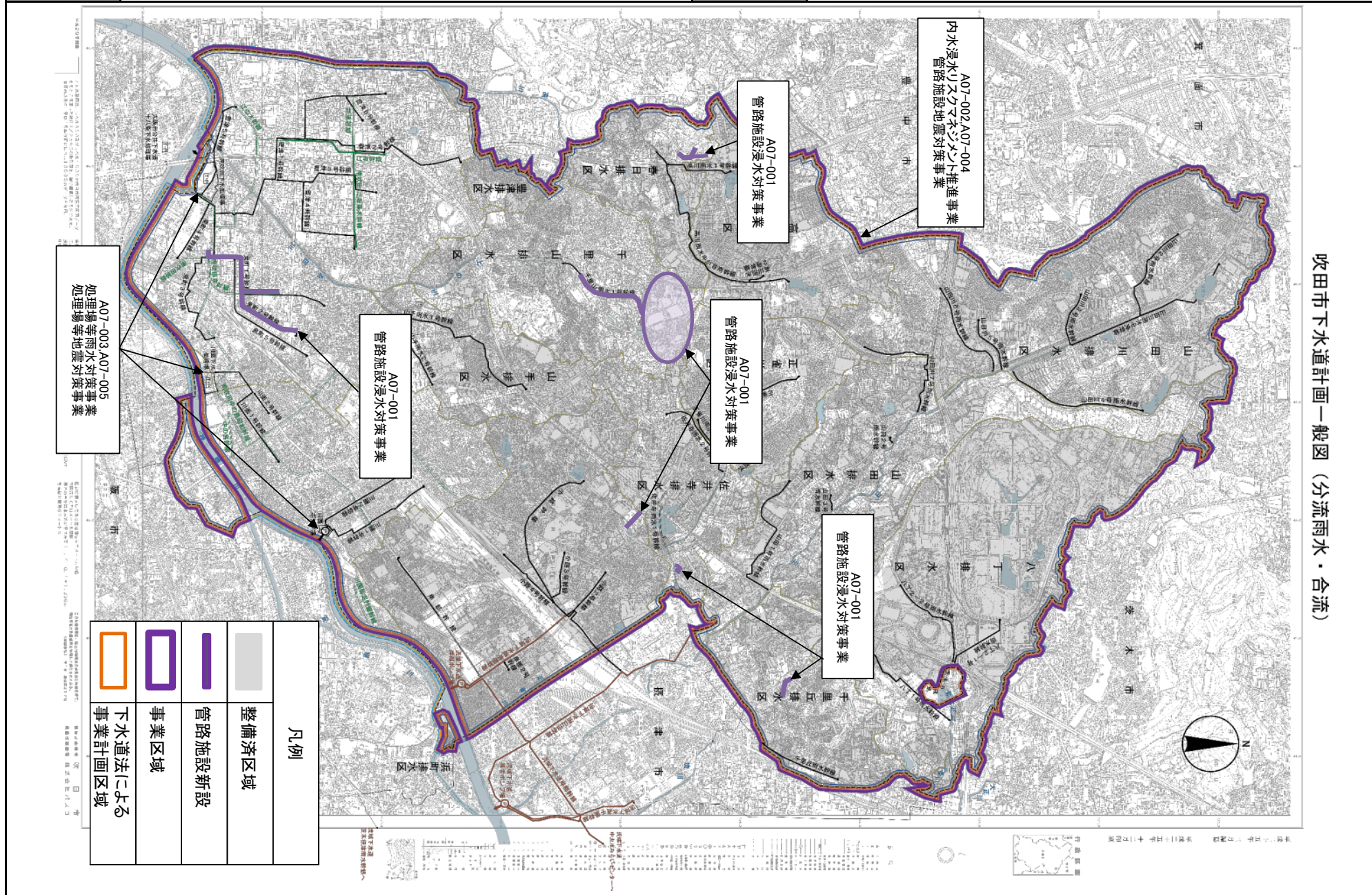
## 事前評価チェックシート

計画の名称： 吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その２）（重点計画）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 社会資本整備重点計画との適合等 １）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 ２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 １）まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 ２）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 ２）計画について関係機関等の理解が得られている。	○



計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その2）（重点計画）（防災・安全）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和10年度（5年間）	交付対象	吹田市





(参考様式 3)      (参考図面)

計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その2）（重点計画）（防災・安全）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和10年度（5年間）	交付対象	吹田市

